

緊急

水田たより

令和2年9月3日  
桑名地域農業改良普及センター  
鷲野、西山、馬場、大野  
(TEL:0594-24-3641)

# 台風や大雨への対策を！

## 事前の対策

### 水稲

#### ①冠水や浸水に備えて、

- ・排水路の点検、稲わらや籾殻の適切な処理を！
- ・収穫物や機械は適切な場所で保管を！

#### ②フェーン現象に備えて、5cm程度の深水管理に！

※急激な高温により、稲が脱水状態になり、白穂や胴割粒が発生することがあります。  
※深水は水分補給だけでなく、風の揺れを減らし、葉や穂のスレも軽減させます。

### 大豆

#### ①冠水に備えて、明渠の整備と排水口の確認を！

※開花期～子実肥大始期は、冠水被害を最も受けやすい時期です。  
※冠水から24時間で被害が発生し、48時間で60%減収した事例もあります。

## 事後の対策

### 水稲

#### ①冠水した圃場では、すぐに排水を！

※穂先や葉先が水面から出れば、稲は呼吸することができます。

### 大豆

#### ①明渠や排水口を点検し、すぐに排水を！

#### ②紫斑病や葉焼病の対策に、殺菌剤の散布を！

※病害の発生が見込まれるため、カメムシ防除と併せて殺菌剤を散布しましょう。

#### ③葉が黄化している場合、追肥を行いましょ！

※窒素で2～3kg/10a施用すると、湿害の軽減に有効です（オル14の場合15kg程度）。

安全確保のため、圃場や水路等の点検は、  
雨や風が収まってから行いましょう！